

用語等の解説

返還ガラス固化体

- ・原子力発電所で生じた使用済燃料の再処理により発生する、高レベル放射性廃棄物を、長期間、極めて安定した性質を持つガラスと一緒に混ぜ合わせ、さらにキャニスターと呼ばれるステンレス製の容器に封入し、保管できる状態としたものを、ガラス固化体という。
- ・日本の電力会社は、原子力発電所で発生した使用済燃料の一部の再処理を、仏国と英国の再処理事業者に委託している。再処理に伴い発生したガラス固化体は日本に返還される契約であり、仏国と英国から日本原燃（六ヶ所村）の高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センターへ輸送されるガラス固化体のことを、返還ガラス固化体という。
なお、仏国からのガラス固化体の返還については、全て完了しています。

荷役

- ・返還ガラス固化体が収納された輸送容器を、輸送船から専用の輸送車両に積み替える作業

高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター

- ・仏国および英国から返還されるガラス固化体を最終処分に向けて搬出されるまで、30年から50年の間、冷却貯蔵するための施設

以上